

特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を
紹介します。 問合せ 農林水産課



④③ 富山県射水市

大阪府泉佐野市 富山県射水市
特産品相互取扱協定締結式

▶平成30年2月5日、
夏野元志 射水市長（右）
と協定を締結



射水市の特産品



- 面積：109.43km²
- 人口：93,034人・35,132世帯（平成31年1月31日現在）
- 市の花：カワラナデシコ ●市の木：とねりこ
- 市の花木：あじさい ●市魚：シラエビ、ベニズワイガニ、アユ

射水市は、富山県のほぼ中央に位置し、富山市、高岡市に隣接しています。国際拠点港湾を担う富山新港は高速道路網を活かし、太平洋側からの物資の集荷をはかり、拡大する対岸諸国への拠点として目覚ましく発展しています。

射水市の特産品は、肥沃な射水平野でのコメ・白ネギ・キャベツ等の野の幸や、「富山県のさかな」に指定されているブリ・ホタルイカ・白エビ・ゲンゲを始めベニズワイガニ・甘海老など四季折々の種類豊富な海の幸に恵まれています。

6次産業化の取り組みの1つとして、「射水サクラマス市場化推進協議会」を設置し、富山名産の「ます寿司」に用いられるサクラマスの陸上養殖に取り組んでいます。また、寿司米や、クマザサを市内で調達できる仕組みづくりにも取り組んでいます。

射水市は、「きらめく 未来」、「ひろがる 安心」、「あふれる 元気」を施策の基本理念とし、「豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る きららか射水」を目指し、まちづくりを進めています。



- 面積：264.01km²
- 人口：31,758人・13,157世帯（平成31年2月1日現在）
- 市の花：さくら ●市の木：ぶどう ●市の鳥：うぐいす

甲州市は、平成17年11月1日に塩山市・勝沼町・大和村が合併して市制施行しました。甲府盆地の東部に位置し、山岳地帯から流れ出した複数の河川によって作られた勝沼扇状地などからなり、江戸時代には甲州街道と青梅街道が開け、江戸との交流により地域経済に繁栄がもたらされ発展してきました。

甲州市の特産品は、豊かな自然と恵まれた気候・風土を生かした、ぶどう・モモ・スモモ・サクラんぼなど果樹栽培を中心に、品質、生産量とも「フルーツ王国山梨」を代表する一大産地となっています。ワイン・ころ柿（干し柿）などの二次産品は代表的な特産品で、高い品質と知名度を誇っています。また、日本のワイン産業発祥の地として140年の歴史を誇り、甲州市内には約40のワイナリーが集積する日本屈指のワインカントリーとしてその名をとどろかせています。

また甲州市は、ワインの原料となるブドウの生産履歴を明らかにする国内では初となる「甲州市原産地呼称ワイン認証制度」を2010年から導入し、産地確立に向けた独自の取り組みを進めています。

甲州市は、「豊かな自然 歴史と文化に彩られた 果樹園交流のまち 甲州市」を目指して、まちづくりに取り組まれています。



④④ 山梨県甲州市

大阪府泉佐野市 山梨県甲州市
特産品相互取扱協定締結式

▶平成30年3月27日、
田辺 篤 甲州市長（左）
と協定を締結



甲州市の特産品

